

タグチメソッドによるモノづくり上流での 技術開発の進め方セミナー

～開発コストを削減し下流での品質問題の発生を防止する～

■講師コメント■

タグチメソッドはモノづくりのあらゆるステージで効果を発揮する手法です。特に研究開発や技術開発などの上流ステージでは、開発期間の短縮やコスト削減などに絶大な効果が期待できます。しかし、その使い方を誤ると、逆に時間とコストの浪費を招くなど危険な側面があります。本セミナーでは、モノづくり上流でのタグチメソッド活用の考え方と基本的な進め方を理解して頂いた上で、テキストや書籍では紹介されない実践的なテクニックと失敗しないポイントについてご紹介するとともに、演習や成功事例も交えて分かりやすく解説します。

講師: TM実践塾 代表 芝野 広志 氏

(有限会社アイテックインターナショナルシニアコンサルタント)

大阪府出身

1957年9月7日生 大阪市立大学工学部電気工学科卒

1980年 ミノルタカメラ(株)入社 OA機器開発、品質工学の社内普及及び技術人材育成に従事

2015年 コニカミノルタ(株)退職

2016年 TM実践塾を設立、品質工学のコンサルタント活動に従事



講義内容

- 品質は上流で作ら込む
 - はじめに
 - 上流と下流の違い
 - タグチメソッドの原点
- 基本機能を考える
 - 基本機能とは
 - 機能と品質
 - 演習1(基本機能の定義)
 - 誤差因子について
 - 演習2(誤差因子の抽出と複合化)
 - ばらつきの数値化
 - 演習3(SN比の計算)
- ロバスト設計の考え方と手順
 - ロバスト設計とは
 - ロバスト設計の進め方
 - 演習4(計画立案, データ解析)
- 上流でのモノづくりを成功させる3つのポイント
 - 狙いは一石千鳥
→基本機能の種類, 機能分解, 展開の理解
 - 下流での再現性を確保
→直交表の意味, 交互作用について
 - スピードが命
→CAEの活用, 直交表のテクニック
 - 演習5(上流でのパラメータ設計の計画立案)
→ポイントを踏まえて再度計画を立案
- まとめと質疑応答

開催日時 2022年10月14日(金) 9:30～16:30

受講対象 開発・設計部門の技術者

配信システム Zoom と Teams 同時配信

受講者準備 筆記用具, 上記配信システムを視聴可能な環境・PC

参加料 28,600円/人(税込)

参加申込み表

受付締切: 10月 7日(金)
定員: 20名

FAX(052-917-0712)orメール(info@iteq.co.jp)にてお願いします。

- ・定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- ・お申し込み後、ご請求書と会場案内図を郵送にてご送付いたします。
- ・お支払いは請求書記載の弊社指定口座に銀行振り込みにてお支払いください。
- ・お申し込み後のキャンセルはできませんので、代理の方のご参加をお願いします。

会社名: _____

住所: 〒 _____

所属/役職: _____

氏名: _____

E-mail: _____

TEL: _____



URL <http://www.iteq.co.jp>
E-Mail info@iteq.co.jp
TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712

有限会社アイテックインターナショナル
〒462-0844 愛知県名古屋市中区清水3-8-5
担当: 江平・舟山